

環境調査結果のお知らせ

平成21年5月12日
中央漁業指導所・水産試験場

平成21年5月12日午前9時30分から野見湾の環境調査をしました。
観測の結果は次のとおりでした。

溶存酸素

溶存酸素濃度は5.8～11.7mg/lでした。

酸素濃度は各定点の2 m層で高く、底層は前回調査より低くなっています（表1・表2）。

水 温

水温は18.7～21.6℃の範囲でした。前回調査（4月23日）より0.5～1.7℃上がっています（表3）。

塩 分

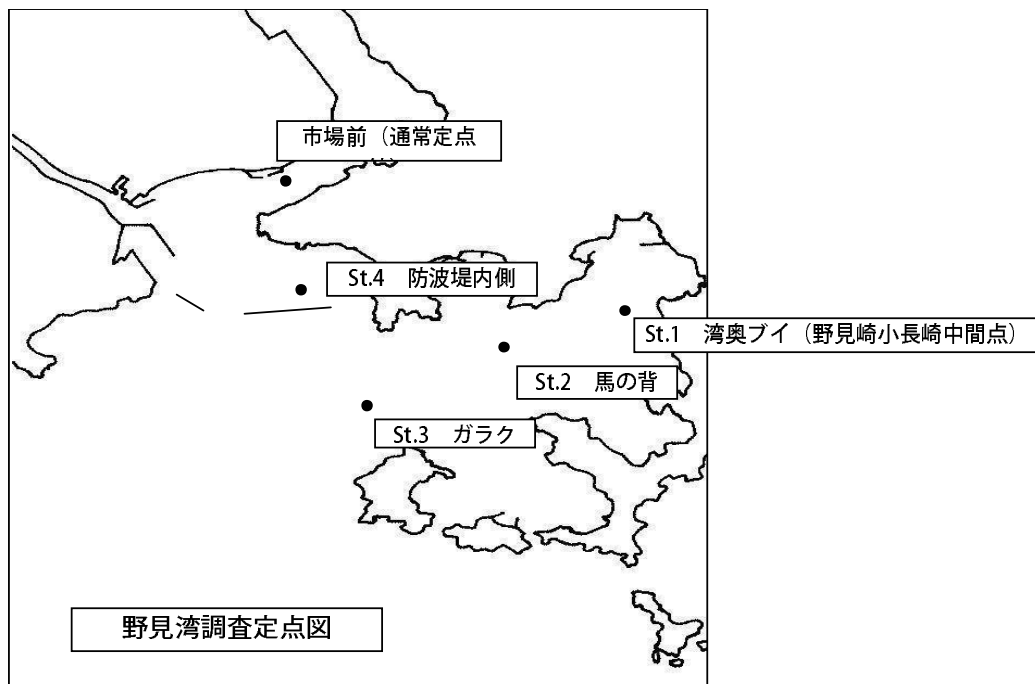
湾内の塩分は33.64～34.24で、表層が若干低いもののほぼ均質な塩分濃度になっています（表4）。

プランクトン

低密度ですが有害種が出現しています。

また、性状のよく分からない不明種が湾内全域に出現していますので、養殖魚の状態などには充分注意してください。

なお、プランクトン調査の結果は3ページ目に記載しています。



環境調査結果表（溶存酸素・水温・塩分）

表1 溶存酸素(mg/l)

平成21年5月12日

調査地点	St.1	St.2	St.3	St.4	湾内平均 (St1~ St3)	前回調査 (H21.4.23)		市場前
	野見崎と小 長崎中間点	馬の背	ガヲ2番口	東側津浪防 波堤内側		湾内平均	前回との差 今回-前回	
0 m	10.4	9.2	8.5	7.7	9.4	9.0	0.4	7.4
2 m	11.7	9.2	9.3	8.0	10.0	9.1	1.0	7.7
5 m	8.5	8.2	7.8	8.0	8.2	9.1	▲0.9	7.9
10m	7.2	7.5	7.5	7.5	7.4	8.5	▲1.2	7.1
B-1	5.8	6.6	7.4	6.4	6.6	6.9	▲0.3	6.4

表2 溶存酸素(ml/l)

調査地点	St.1	St.2	St.3	St.4	湾内平均 (St1~ St3)	前回調査 (H21.4.23)		市場前
	野見崎と小 長崎中間点	馬の背	ガヲ2番口	東側津浪防 波堤内側		湾内平均	前回との差 今回-前回	
0 m	7.4	6.5	6.0	5.4	6.6	6.4	0.3	5.3
2 m	8.3	6.5	6.6	5.7	7.1	6.4	0.7	5.4
5 m	6.0	5.8	5.6	5.7	5.8	6.4	▲0.6	5.6
10m	5.1	5.3	5.3	5.3	5.2	6.1	▲0.8	5.0
B-1	4.1	4.7	5.2	4.6	4.7	4.9	▲0.2	4.5

表3 水温 (°C)

調査地点	St.1	St.2	St.3	St.4	湾内平均 (St1~ St3)	前回調査 (H21.4.23)		市場前
	野見崎と小 長崎中間点	馬の背	ガヲ2番口	東側津浪防 波堤内側		湾内平均	前回との差 今回-前回	
0 m	21.6	21.1	21.0	20.7	21.2	19.5	1.7	21.6
2 m	21.1	20.9	20.7	20.1	20.9	19.4	1.5	20.7
5 m	20.4	20.2	20.0	19.9	20.2	19.1	1.1	19.8
10m	19.5	19.5	19.6	19.3	19.5	19.1	0.5	19.3
B-1	18.9	18.7	19.0	18.9	18.9	18.4	0.5	19.1

表4 塩分(ppt)

調査地点	St.1	St.2	St.3	St.4	湾内平均 (St1~ St3)	前回調査 (H21.4.23)		市場前
	野見崎と小 長崎中間点	馬の背	ガヲ2番口	東側津浪防 波堤内側		湾内平均	前回との差 今回-前回	
0 m	33.7	34.2	34.2	33.6	34.0	33.7	0.3	33.0
2 m	33.9	34.2	34.2	33.9	34.1	33.8	0.3	33.6
5 m	34.0	34.2	34.1	34.0	34.1	33.8	0.3	34.1
10m	34.0	34.2	34.2	34.2	34.1	33.9	0.2	34.2
B-1	34.1	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	▲0.0	34.2

表5 水深・透明度 (m)

調査地点	St.1	St.2	St.3	St.4	市場前
水深(m)	17.0	24.0	16.1	16.1	12.3
透明度(m)	4.0	5.0	6.5	6.0	4.0

環境調査結果表（プランクトン）

平成21年5月12日

単位 cells/ml

調査地点・水深		コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ヘテロシグマ・アカシオ	不明種
St.1 湾奥ブイ	0 m	0	1	94
	2 m	0	0	117
	5 m	0	2	1,411
St.2 馬の背	0 m	0	2	57
	2 m	0	0	56
	5 m	0	0	107
				28
St.3 ガラク	0 m	0	0	34
	2 m	0	0	33
	5 m	0	0	
St.4 東側津浪防 波堤内側	0 m	0	0	3
	2 m	0	0	13
	5 m	0	0	44
定点外 市場前	0 m	0	0	1
	2 m	0	0	9
	5 m	4	0	27

プランクトン

湾奥（St.1）から湾中央部（St.2 馬の背）の表層でヘテロシグマ・アカシオが 0～2 cells/ml、市場前（定点外）の5 m層でコクロディニウム・ポリクリコイデスが4cells/ml出現しています。

ヘテロシグマ・アカシオは20,000cells/ml以上で、コクロディニウム・ポリクリコイデスは400cells/ml以上で養殖魚に被害が出ることがあります。

また、種類不明のプランクトンが湾奥を中心に湾内全域で出現しています。本種は前回のプランクトン調査（5月7日）では市場前のみで見られましたが、今回は発生域を拡大しています。有害種かどうかはよく分かりませんが、表層より2～5 mでの増殖が盛んなようですので、養殖魚の状態などには充分注意してください。また、異常を感じたときなどは、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所までご連絡ください。